

正 誤 表

「大腸ポリープ診療ガイドライン 2020（改訂第 2 版 第 1 刷）」

下記の箇所には誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
17	解説本文上から 3 行目	現時点（2020 年 2 月現在）での	2020年4月より
17	解説本文上から 7～8 行目	場合であり，以上のいずれかに該当した場合に診療報酬算定できる．	場合に加えて，③大腸内視鏡検査が必要であるが，以下のいずれかに該当し，身体的負担により内視鏡検査が実施困難であると判断された患者に用いた場合，具体的には，慢性便秘症で放射線学的に，たとえば腹部単純X線でS状結腸の陰影が腸骨稜を越えて頭側に存在する場合や横行結腸の陰影が腸骨稜より尾側の骨盤内に存在または肝弯曲や脾弯曲の陰影がループを描いている場合や，高血圧症，慢性閉塞性肺疾患，心不全の場合でもCCEが保険上施行可能になった．
23	解説本文下から 5 行目	4 件の RCT	5件のRCT
24	文献 11 のページ数	234557	2345-2357
39	「回答」の 1 行目	大腸癌は腺癌を介して	大腸癌は腺腫を介して
82	解説本文上から 6 行目	SSA/P の癌化例では	削除
82	解説本文上から 7 行目末尾	また，変	また，病変
82	解説本文上から 8 行目末尾	領域に腺腫様	領域には腺腫様

2021 年 12 月 21 日

株式会社南江堂